

仙台YMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

No.334.2021



仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



2021年10月15日発行
公益財団法人仙台YMCA
〒980-0822
仙台市青葉区立町9-7
Tel 022-222-7533
Fax 022-222-2952
www.sendai-ymca.org
発行人 / 村井伸夫
編集人 / 松島晃子



コロナ禍で届いた支援に感謝

仙台YMCA 国際ホテル製菓専門学校



ほぼ2年になろうとするコロナ禍での生活。仙台YMCA国際ホテル製菓専門学校の学生たちであっても例外ではありません。現在の2年生は、入学式をはじめとする各種学校行事だけでなく、ホテルでの長期インターンシップも実施することができないなど、本来の学生生活の機会を満足に得ることができませんでした。幸い、授業は感染予防策を取りながら期間を変更するなどの対応をして対面で行うことはできましたが、ホテル観光業界、飲食業界に与えた影響は、新卒採用の中止または削減やアルバイトを満足にすることができないなど、普段の生活や将来の職業選択にもおよびました。実際にインターンシップもできず、企業訪問も難しい中での就職活動、オンラインでの企業説明会や就職試験の実施など、これまでには体験したことのない厳しい状況の中で就職活動を強いられています。特に留学生は、日々の生活維持のためのアルバイトが少なくなってしまうため就職活動に時間を割くことができず、現在においてもなかなか内定を獲得することが難しい状況が続いています。

(第2面に続く)

『日本中から支援 つながりを実感』

このような厳しい状況にある学生たちに対し、食糧支援の運動が動き出しました。普段彼らに授業をしてくださる講師の皆さんやキリスト教会、仙台YMCAを支えるワイズメンズクラブの皆さんからは、ハウレン草やお米などが届きました。また日本YMCA同盟を通して、カレーやツナ缶、パスタなどが届き、アルバイトができずにいる留学生たちの手にお渡しすることができました。さらに、公益財団法人仙台YMCAとしてもAmazon「みんなで応援」プログラム*を通して留学生を支援するサイトを立ち上げ、お米やカップヌードルなどの食料品の支援を呼びかけました。すると日本中から多くの支援がメッセージとともに寄せられました。

これらの温かいご支援に対し、留学生たちも手作りのメッセージで感謝を伝えました。毎月のように継続してお送りいただく方もいらっしゃる、本当に感謝に堪えません。「離れていてもつながっている」このことを実感する温かい支援です。コロナ禍にあって多くの人々が困難の中にある中でいただいている支援。学生一人一人がその価値を心に刻み、将来社会に出たときに自らもその価値を発揮できる者になってほしいと願っています。

(報告：校長/加藤 雄一)



*Amazonによる社会貢献活動の一つである「みんなで応援」プログラムは、Amazonの「ほしいものリスト」を活用したチャリティキャンペーンです。各種団体・施設が、支援を希望する物資の「ほしい物リスト」をAmazonのサイト上で公開し、プログラムの趣旨にご賛同いただける方々にそのリストから商品をご購入いただくと、応援物資として支援先に届きます。YMCAはパートナーとして全国23YMCAにおいてこのキャンペーンに参画しています。

<https://www.ymcajapan.org/ouen/>

＜寄せられたメッセージ＞

「ギフトをお楽しみください。応援者より」、「ポストカードありがとうございます。一生懸命書いてくれて嬉しかったです。お仕事がんばってください」、「わずかでもお役に立ちたいです」、「お手紙ありがとうございます。メッセージをいただきこちらこそたいへん感謝しています。」

【10月1日現在内定先一覧】 ホテルニューオータニ幕張、金谷ホテル、日本料理なだ万（仙台、札幌）、BACKSTUBE ZOPF、ホテル佐勘、ホテルモントレ仙台、ラ・スイート神戸ハーバーランド、シマダグループ

仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人の共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に拡げます。

私たちは、人と人のかかわりを豊かに育み、隣人に伝えあう喜びの輪を拡げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

「これからも、ともに」 ひかり組 保護者/渡邊 珠希さん

自宅の前に広がる、草が生い茂る空き地は、私が子どもの頃の遊び場だった。その空き地に保育園が立ったのはいつの頃だったか。今日も元気な声が聞こえてくる。

折しも、今日は「すまいるファミリーデー！」いつにも増して興奮気味で楽しい声に、リモートワーク中の私は好奇心でウズウズしてしまった。気になるなあ。集中集中。生後5ヶ月を迎えた頃、愛娘は西中田保育園に入園した。かつて私がよく遊んだこの場所で、娘は社会生活の一步を踏み出した。ミルクをガブ飲みするような子で、肥満になりはしないかと心配していると、少しでも腹持ちが良くなるようにと、離乳食をどんどん進めてくださった。お陰様で何でも良く食べる、ひかり組の5歳児に成長した。布オムツをせっせと干していたのは、昨日の事のようなのに、今では、手振りつきで、情感たっぷりに歌を歌う。そして、ついに、来春には...!! 季節の行事がひとつ終わる度、卒園に向かって歩んでいることを実感する。毎年のクリスマス礼拝で、私の生業でもあるフルートの演奏を届けてきたことも一番の思い出となった。クリスマスを迎える厳かな雰囲気の中、子どもたちのワクワクと、生の音楽が重なり合い、とても素敵な一体感が生まれる。こんな瞬間に奏者として、我が子の前に立つことができ、本当に至福の時間であった。

YMCAに入園することができ、私たち親子は素晴らしい経験と出会いに恵まれた。娘が一歳の誕生日に保育士の方から頂いたメッセージ「ママとしても一歳ですね。おめでとう！」が忘れられない。母業も、こうして一年一年大切に積み重ねていこう。YMCAとの関わりは始まったばかり ^_^。様々な理念も、活動も、まだまだ、半分も理解できていない。娘とともにゆっくりと、これからも私たちなりの形で、関わってゆきたいと思う。



「息子のステージ」 ほし組 保護者/白戸 夏子さん

2020年6月からYMCA長町保育園さんにお世話になっております、ほし組 白戸達也の母の白戸夏子と申します。私達家族は、2019年12月にこの素敵な街“長町”に引っ越してきました。YMCA長町保育園さんが完成されて数か月後に入園することができ、心から良かったと感じております。息子は園が大好きで毎日楽しく登園できており、保育士のみなさまの真摯な姿勢、子どもの将来をしっかりと考えた保育方針のおかげです。もちろん息子だけでなくお父さんお母さんも楽しく送り迎えできているのも皆様のおかげです。ありがとうございます。私たち親子は、いつも、触れ合い、会話して、笑って、ほめあって、相手を尊重し、愛に1欠片の疑いももたない関係を築けており、これも園からいただいた数々のメッセージにより親子共々が成長できたからだと感じております。そして、園は、息子にとって最高のステージになっております。自宅で楽しい出来事があったら、新しい靴を買ったら、新しい服を買ったら、面白いものを拾ったら等、YMCAに行って披露するんだと最高の笑顔で話してくれます。私はこの希望に満ちた笑顔を見るのが幸せを実感する瞬間となっています。ありがとうございます。YMCAに登園しはじめてからの息子は、今日一日に感謝して20時前には眠りにつき、5時半には希望にあふれ目が覚める。そんな素敵な毎日をすごしています。

最後に、私は、YMCA長町保育園さんの園医(なっちゃんデンタル)としても協力させていただいており、登園されているお子様、ご両親様のお顔もよくわかるため、息子といっしょに私も園のファミリー気分です。これからも息子共々よろしくお願いたします。いつも綺麗な園内、美味しいごはん、ワクワクするメッセージ、イベントをご提供してくれている、みなさまに心から感謝いたします。



2021年度 国際・地域協力募金委員会 活動に向けて

実行委員長：菊地 弘生 さん（仙台青葉城ワイズメンズクラブ）



募金委員会の皆さんこんにちは！。このたび、当委員会の委員長を担当することになりました、菊地弘生（所属：仙台青葉城ワイズメンズクラブ）と申します。2018年に一度お引き受けしてから3年が経ちました。

あの時の目標額は従来の200万円から230万円とちょっと背伸びした目標額の設定でした。コロナ禍の状態が続いている中で、思うようなコミュニケーションが出来ず今日を迎えています。街頭募金が中止となり、昨年と同じ歩みの中ではありますが、困難に遭っている海外の子どもたちを思いつつ、最後まで募金委員会の役割を果たし、支援金が届けられるようこれからも取り組んで参りたいと思います。リーフレットが出来上がるのを楽しみにしています。

今月、委員会が開催できる運びとなりました。皆様とお会いできることを楽しみにしています。

じゃがいも・かぼちゃ・玉ねぎが届きました！

10月11日(月)、今年も北海道・十勝の大地で育ったじゃがいも・栗かぼちゃ・玉ねぎが仙台YMCAに届けられました。国際・地域協力募金特別プログラムとして10月12日(火)より販売を開始しております。お気軽にお問合わせください。

このプログラムにより得られる販売利益は、東日本大震災被災地支援・仙台YMCA子ども支援プログラム等さまざまな社会活動に役立てられます。是非ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

★お問合せ★
022-222-7634



(9月4日～10月11日)

維持会費

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

◆一般会員

| | | |
|--------|--------|----------|
| 維持会員A | 維持会員B | パートナー会員A |
| 井上修三さん | 菅野 健さん | 井上優子さん |
| | 中川典幸さん | |



一般会員・サポート会員を
随時募集中です

ぜひ会員として、

仙台YMCAの活動をお支えください
お問い合わせ：本部事務局

TEL:022-222-7634

FAX:022-222-2952